



なかよしタイム

2023年11月14日

とよのの わくわくみ~つけた! ~やってみよう!たのしもう!みんなのちからで!~

幼児クラスの異年齢交流「るんるんタイム」で自然あそびをしました。とよのの自然の中で子どもたちは今までの経験を伝え合い、イメージを出し合って工夫して楽しんでいます。一人ずつのアイディアを出し合い、友だちと力を合わせて発揮している子どもたちです。



《また来たいなー!》

初谷川の川沿いの私有地の方に許可を得て、雑木林で遊んできました。るんるんのペアで手をつないで初谷川沿いを歩いて、去年ネイチャーあそびで通った炭焼き窯や台場クヌギの場所を通り、今年ของกลุ่มマークのグーチョキパーの木を通過して、目的地に着きました。まずは石の橋を渡るところから始まり、落ちないようにそーっと渡っていましたよ。雑木林では斜面を駆け上がり、セミの抜け殻を見つけたり、蜘蛛の大きいカマドウマを見つけたり、上の方までくま組が上がると、きりん・ぱんだ組も一緒について上がって楽しんでいました。降りるときはおしりをつけて、ずるずると滑り台のように降りる子もいました。木の実や枝を見つけて、「焼き芋の時に燃やそう」と集めたり、棒を川につけて、魚釣りごっこを楽しんだり、川や山で体験することでイメージを広げ遊んでいました。帰りには「また来ような!!」と帰るのが惜しい子どもたち。帰り道も歩きながら上を見て、「森のトンネルだー」と、木の間から見える光を見て、自然を満喫しながら帰ってきました。いつもなら棒を持つと「危ないよ」と言われますが、「バケツの大きさくらいの棒を集めよう」と提案すると、大喜びで考えながら、棒を集める子もいました。非日常の体験の中で、思いっきり身体を動かして楽しんで帰ってきました。



《いつもの場所を変身させよう!》

春にはヨモギ摘み、夏には栗拾い、柿採りをしている裏庭をみんなで変身させて遊びました。「何をもっていく?」と聞くと「リュックサック」「水筒」などなどイメージを広げ、以前、絵の具あそびで手形をした布とロープ、ブルーシート、テント、ネット、段ボールをもって裏庭に行きました。早速、グループに分かれて、基地の場所を決めて、ブルーシートを敷いたり、ロープをかけたり、手型の布をのれんにしたりしました。「ここが食べるところ」「風が吹いてきたからテントの中に入ろう」「これ暖簾やねん」栗のイガを集めて「かまどやから鍋をしようー」と各グループでイメージを出し合い、あそびが始まりました。ご飯を作る子、虫や葉っぱを見つける子、基地のデザインを考えてスズランテープや段ボールで飾りをする子、みんなで役割分担をして、異年齢で刺激をたくさん受け「こうやったらくつつく葉っぱ!ワッペンつけてあげる」「お花あっちにあったよ」と目をキラキラ輝かせながら遊んでいた子どもたちでした。裏庭に行く時は先生と一緒にいくという約束をしっかり守り、クラスでまた遊びに行けるようにルールを決めました。どんどん広がる裏庭基地!うさぎ組も招待して一緒に遊びました。



《乳児:裏庭で遊んだよ!!》

とことこタイムで「カニの道」の散歩の後に、保育所の裏庭へ行って、カエルやバッタを見つけたり、柿が実っていたので、先生がとるところを見ました。子どもたちは柿が落ちるところをじーっと見ていましたよ。イガ栗をちょっと触ってみたり、南天の実を集めたりやイラクサで音を鳴らして楽しみました。保育所の裏庭には自然がいっぱいです。



自然がいっぱいの豊能町。厳しい残暑が過ぎて、秋が深まると、さまざまな木の実や落ち葉で遊ぶことができます。保育所近辺の初谷川や保育所の裏庭でも、自然の恵みを受けることができました。これからも季節の巡りを感じながら遊びたいと考えています。お家の皆さんも近くの公園や山で豊能の自然を感じてくださいね。